

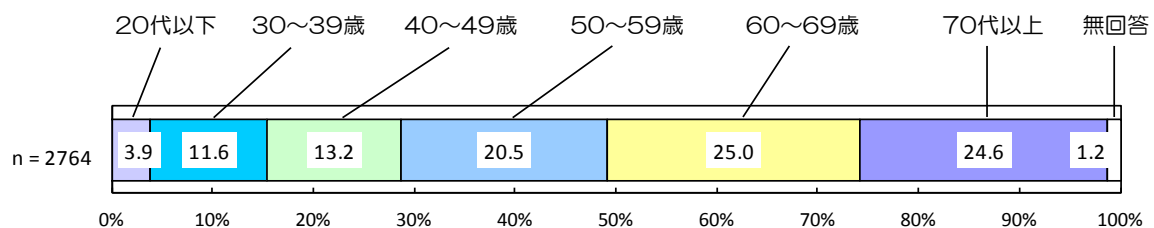
大熊町住民意向調査 調査結果（速報版）

復興庁
福島県
大熊町

調査の概要

1. 調査対象：世帯の代表者（5,043 世帯）
2. 調査時期：平成 25 年 10 月 4 日～10 月 18 日
3. 調査方法：郵送配布、郵送回収
4. 回答者数：2,764 世帯（回収率 54.8%）

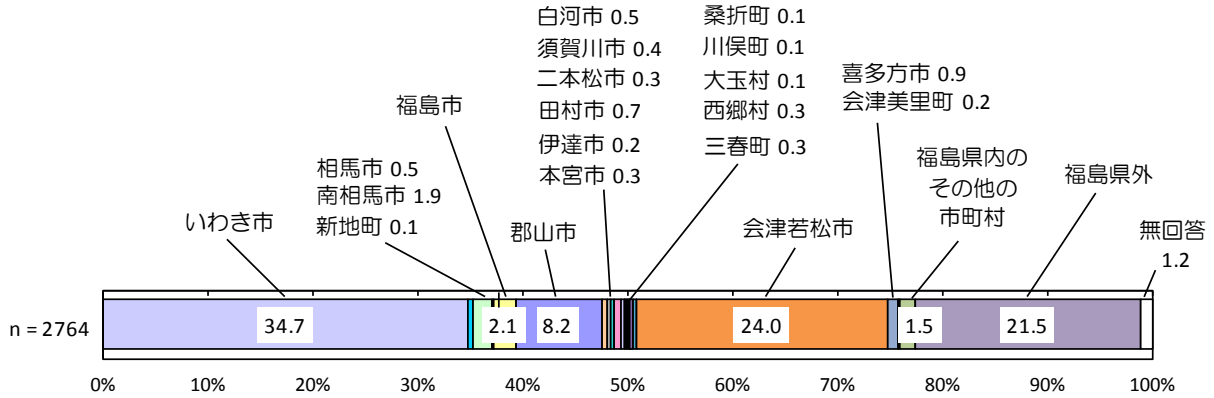
基本属性（年代）



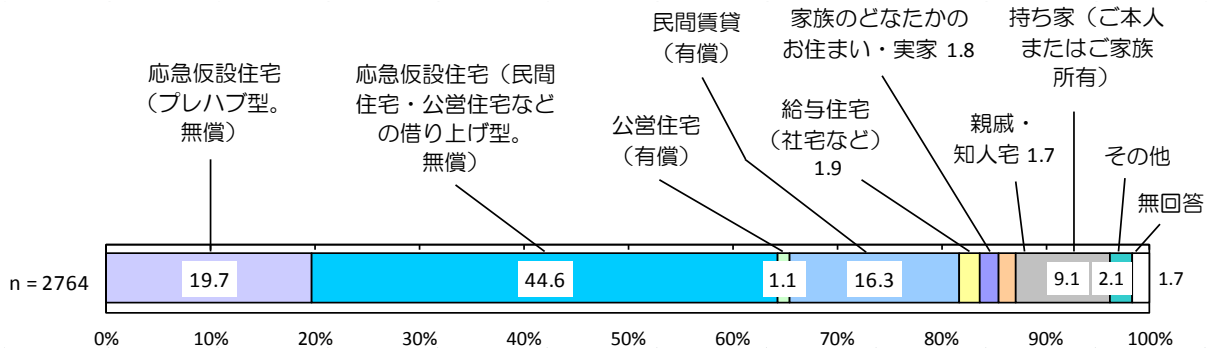
注：「n」とは、質問に対する回答者数で、100%が何世帯の回答に相当するかを示すものである（次ページ以降同じ）。

避難状況

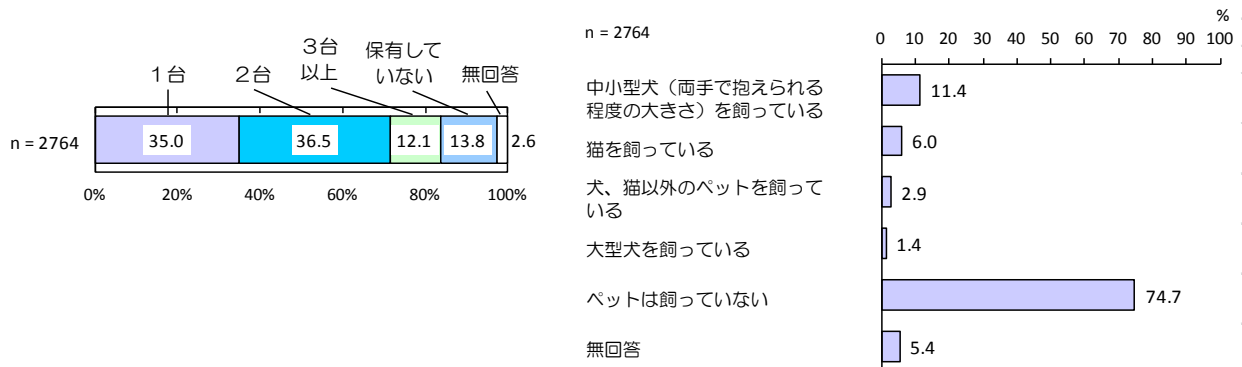
避難先自治体（問 7）



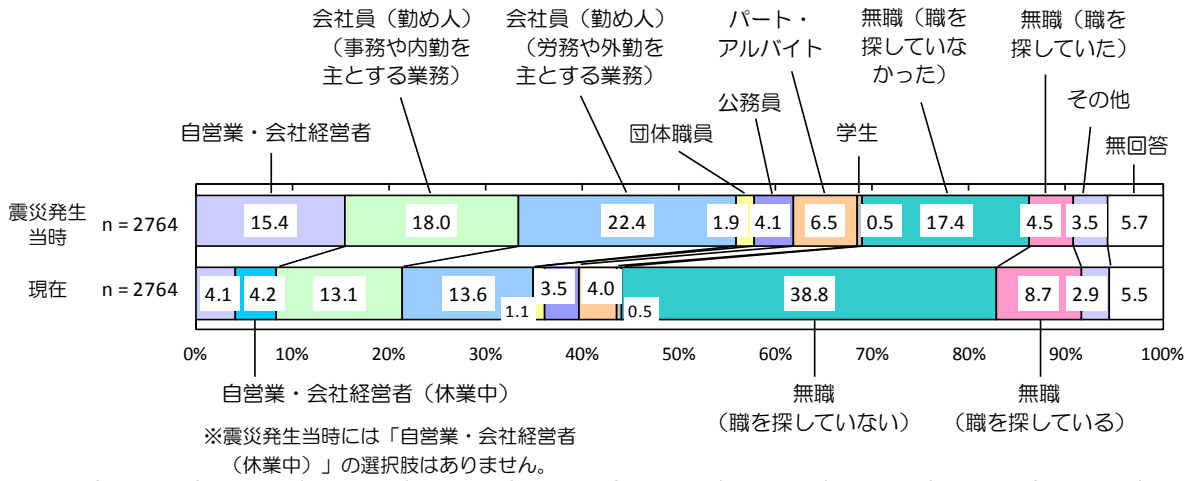
現在の住居形態（問 9）



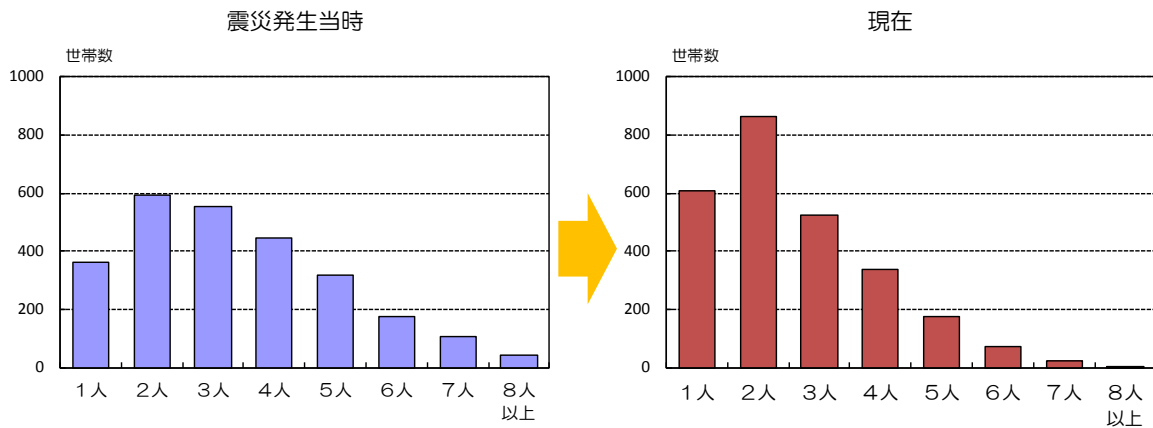
自動車の保有状況（問 10）・ペットの飼育状況（問 11）



職種（問5(1)・問2(1)）

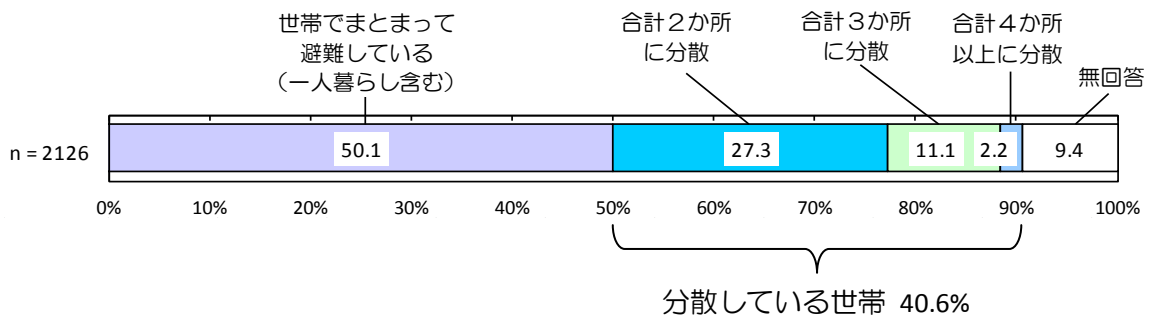


世帯構成（問8(1)・(2)）



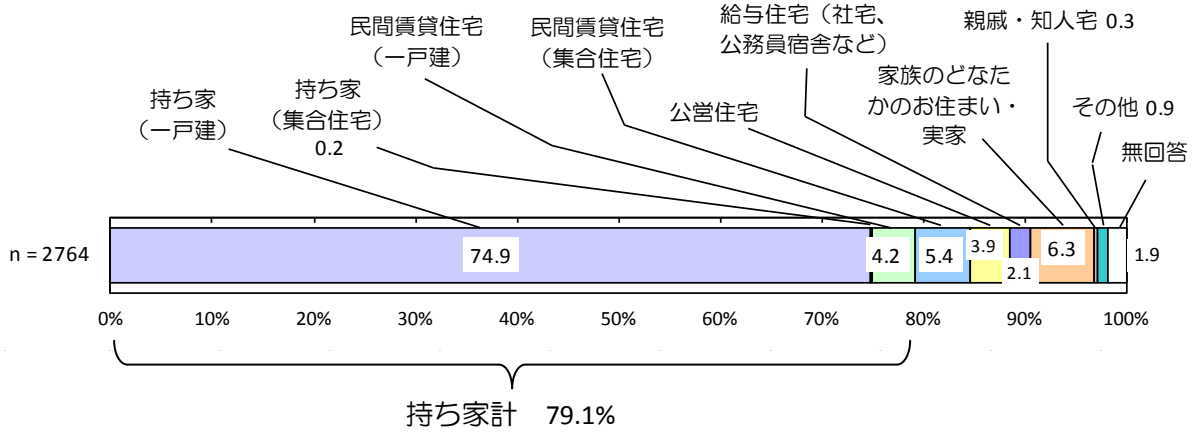
世帯の分散状況（問8(3)）

※震災発生当時、世帯主だった方のみ（問4）



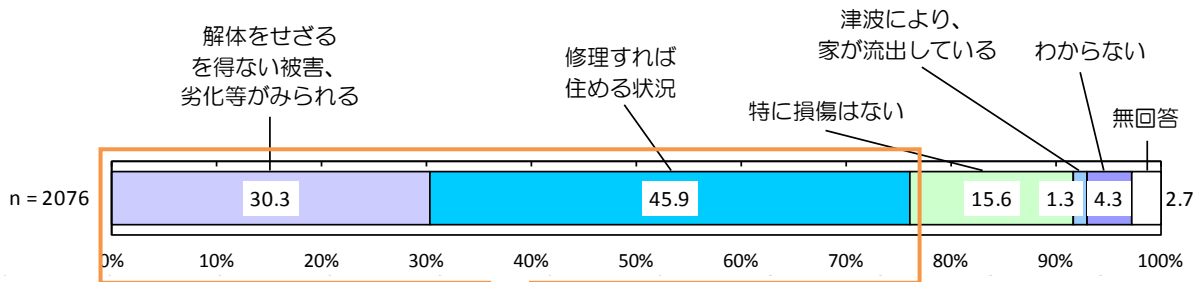
被害の状況

震災発生当時の住宅（問6）



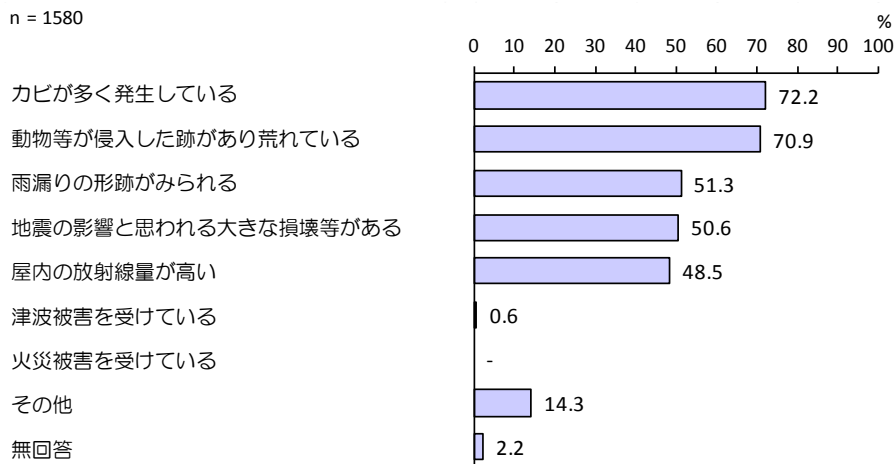
現在の住宅の状況（問6-1）

※問6で「持ち家（一戸建）」「持ち家（集合住宅）」と回答した方のみ



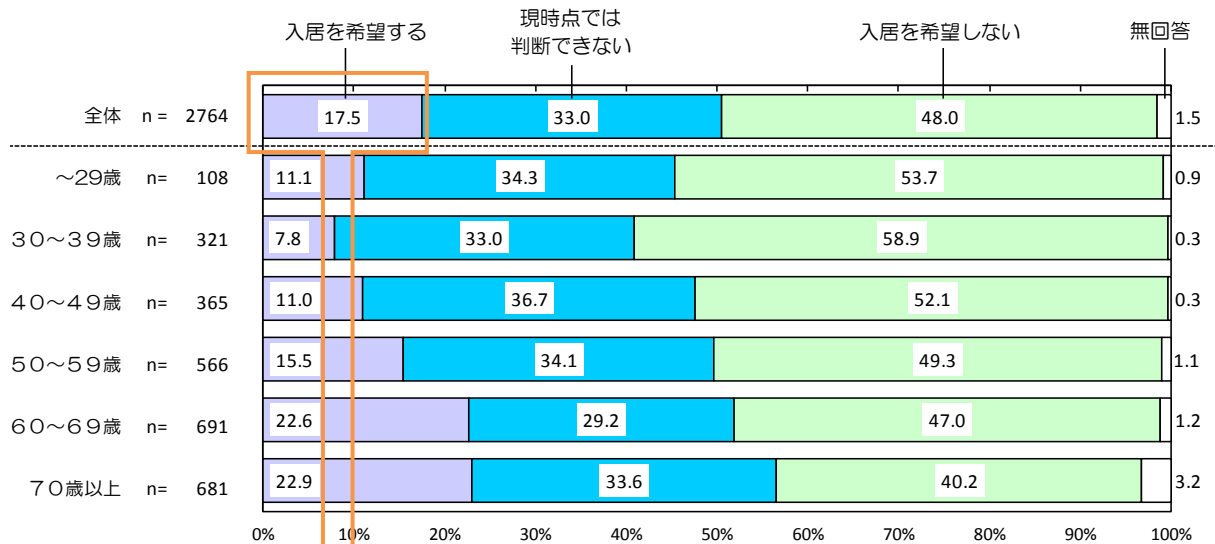
住宅の被害や劣化の状況（問6-2）

※問6-1で「解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる」「修理すれば住める状況」と回答した方のみ



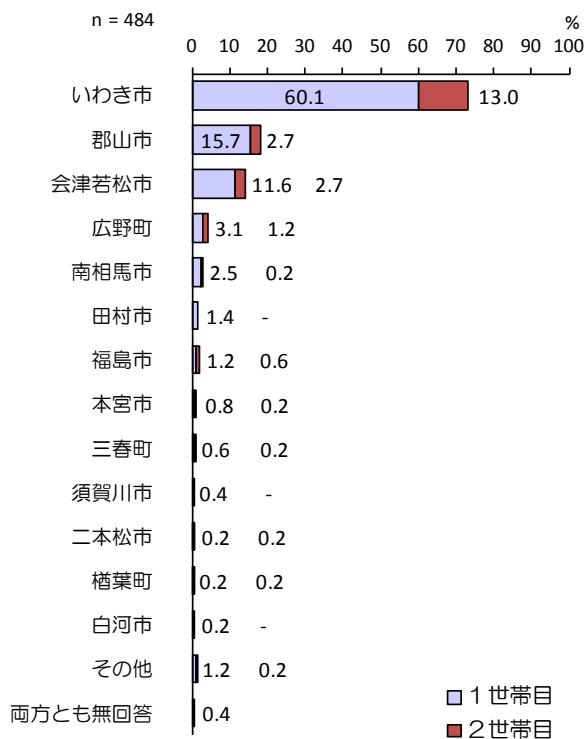
復興公営住宅について

入居希望状況（問 12）



最も希望する自治体（問 12-2(1)・(3)）

※問 12 で「入居を希望する」と回答した方のみ



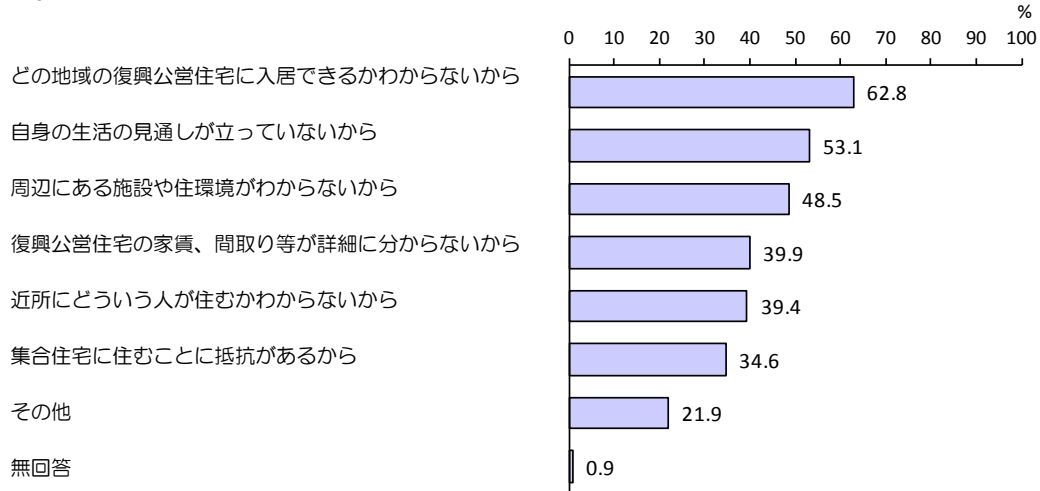
	1世帯目		2世帯目		総数*
	構成比	回答数	構成比	回答数	
いわき市	60.1%	291	13.0%	63	354
郡山市	15.7%	76	2.7%	13	89
会津若松市	11.6%	56	2.7%	13	69
広野町	3.1%	15	1.2%	6	21
南相馬市	2.5%	12	0.2%	1	13
田村市	1.4%	7	-	-	7
福島市	1.2%	6	0.6%	3	9
本宮市	0.8%	4	0.2%	1	5
三春町	0.6%	3	0.2%	1	4
須賀川市	0.4%	2	-	-	2
二本松市	0.2%	1	0.2%	1	2
楡葉町	0.2%	1	0.2%	1	2
白河市	0.2%	1	-	-	1
その他	1.2%	6	0.2%	1	7
合計		481		104	585

*「総数」は、1世帯目の「回答数」と2世帯目の「回答数」の合計値である。

復興公営住宅への入居を判断できない理由（問 12-1）

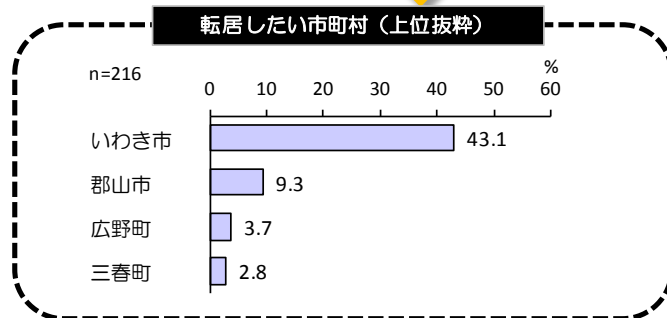
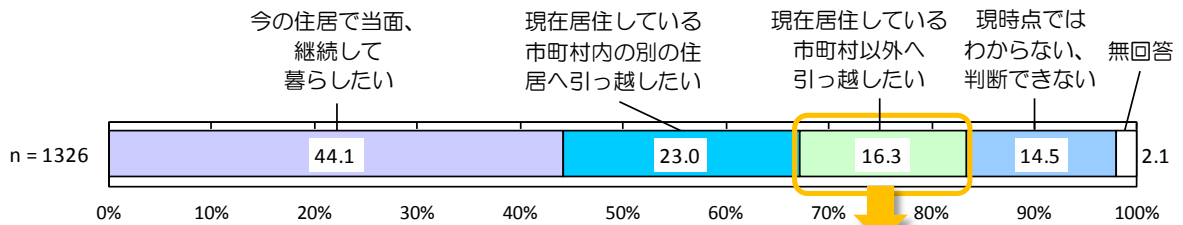
※問 12 で「現時点では判断できない」と回答した方のみ

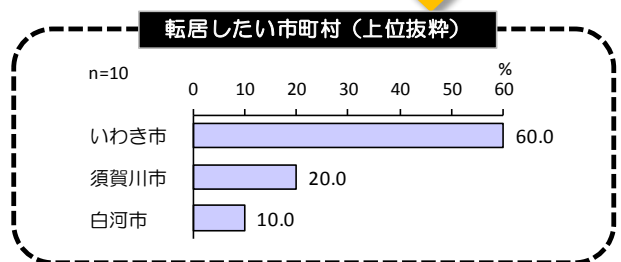
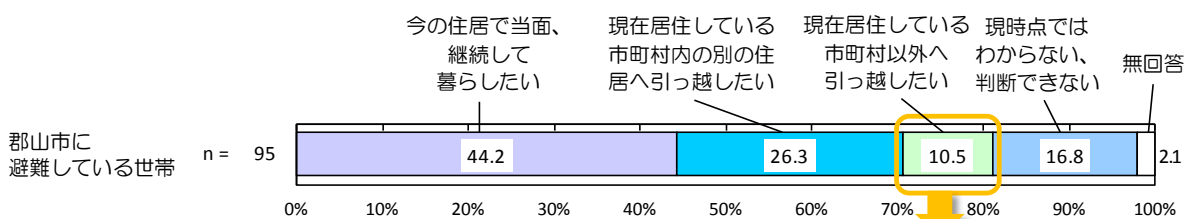
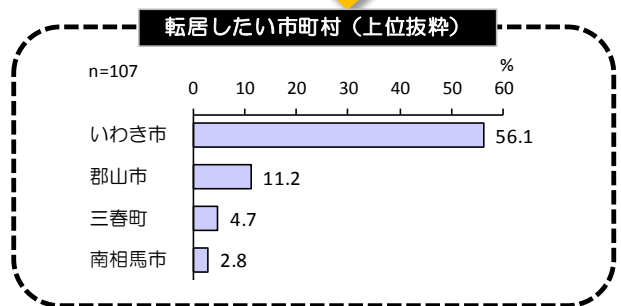
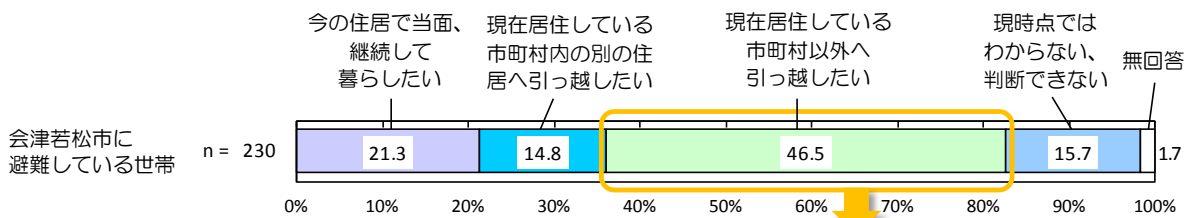
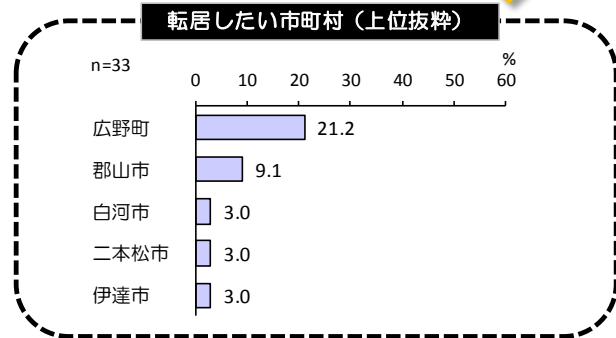
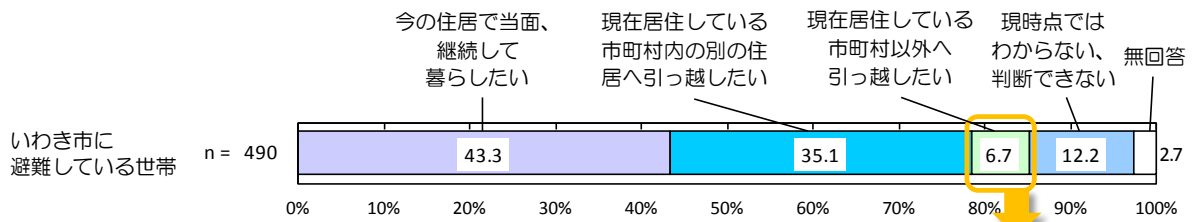
n = 912



現時点で復興公営住宅への入居を希望していない方の 今後の居住地の希望（問 12-8・問 12-10）

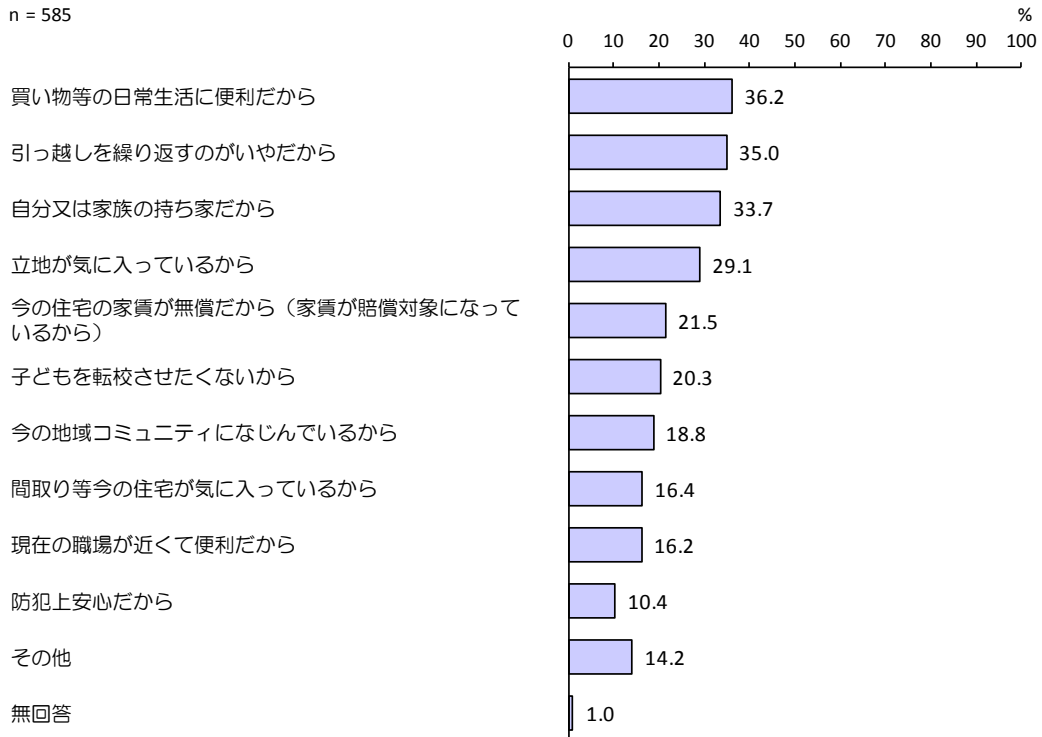
※問 12 で「入居を希望しない」と回答した方のみ





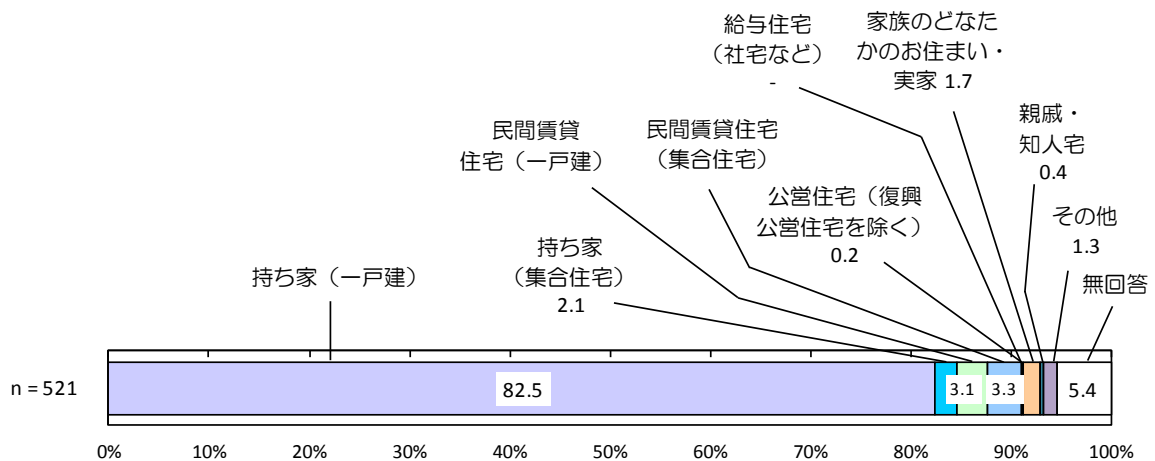
今の住居で継続して暮らしたい理由（問 12-9）

※問 12-8 で「今の住居で当面、継続して暮らしたい」と回答した方のみ



復興公営住宅への入居を希望しない方が希望する住居形態（問 12-11）

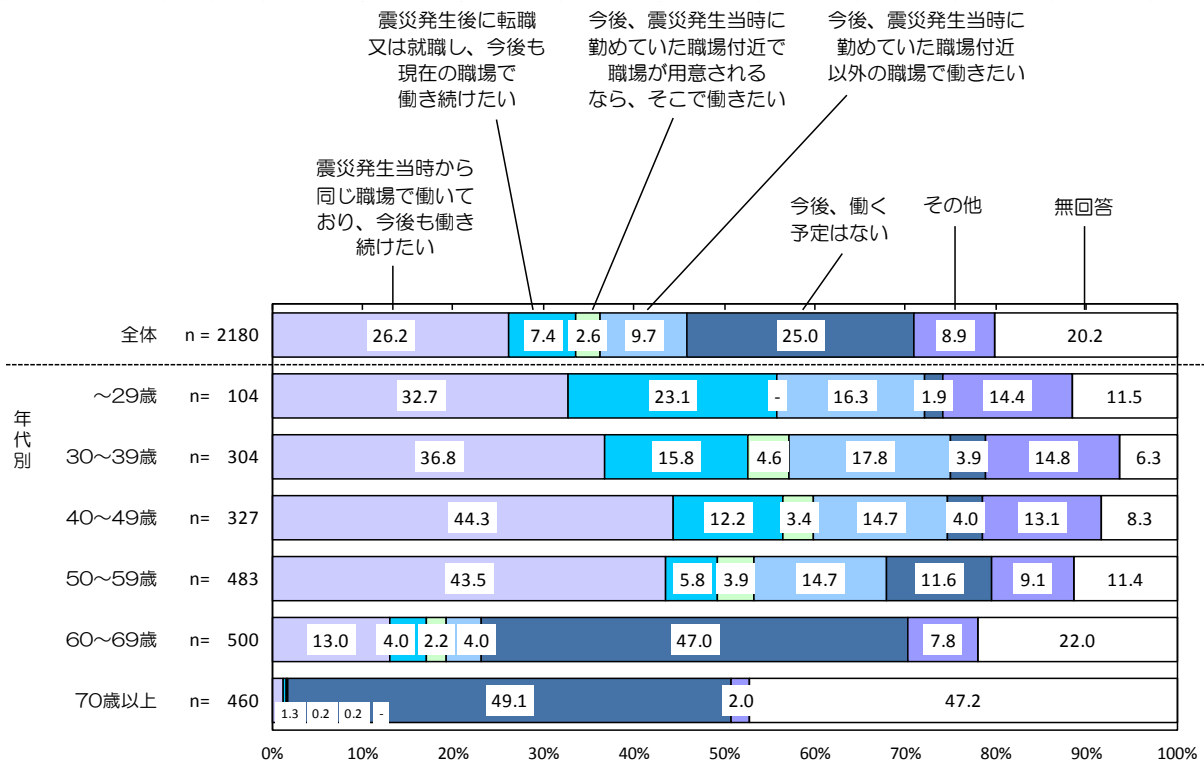
※問 12-8 で「現在居住している市町村内の別の住居へ引っ越したい」「現在居住している市町村以外へ引っ越したい」と回答した方のみ



将来の意向

今後の職業（問 13）：震災時の職業が自営業・会社経営者以外の方

※問 5 で自営業・会社経営者以外と回答した方のみ

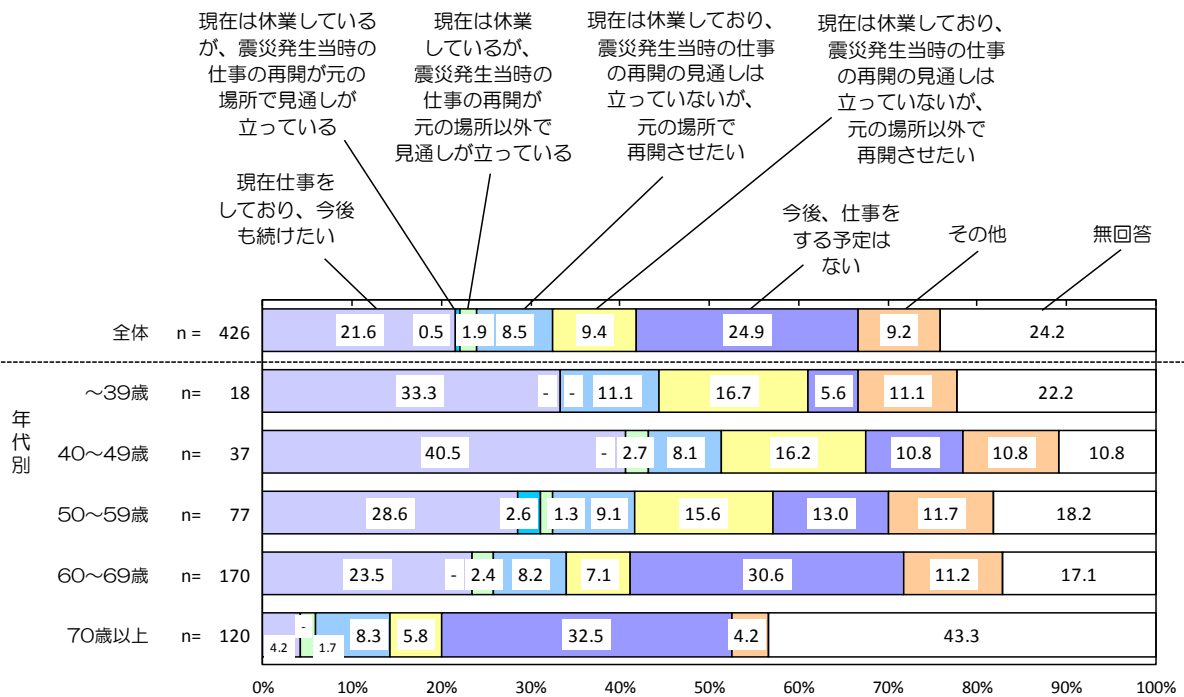


「今後、震災発生当時に勤めていた職場付近以外の職場で働きたい」と回答した方が希望する自治体（上位抜粋）

いわき市	62 件
郡山市	21 件
会津若松市	10 件
埼玉県	8 件
宮城県	8 件

今後の職業（問 13）：震災時の職業が自営業・会社経営者の方

※問 5 で「自営業・会社経営者」と回答した方のみ

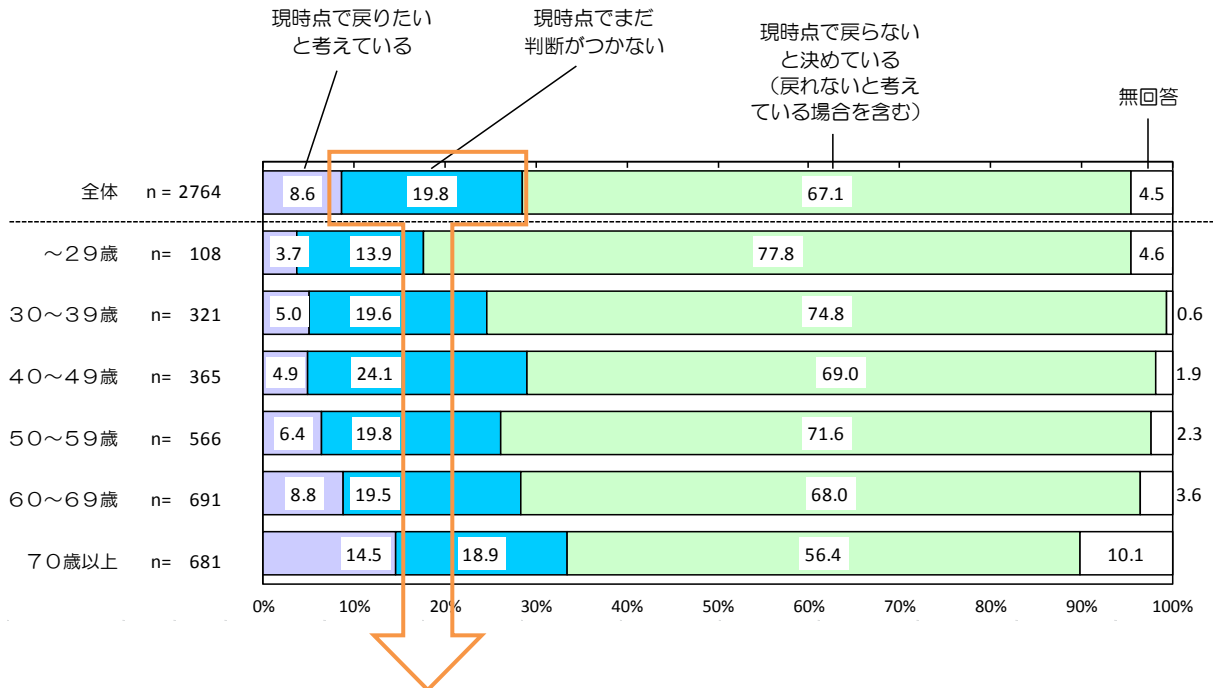


「現在は休業しており、震災発生当時の仕事の再開の見通しは立っていないが、元の場所以外で再開させたい」と回答した方が希望する自治体（上位抜粋）

- いわき市 5 件
- 福島市 2 件
- 大熊町 2 件

※「年代別」について、20 歳代が 2 サンプルと少なかったため、30 歳代と合わせ「~39 歳」として集計した。

帰還の意向（問 14）

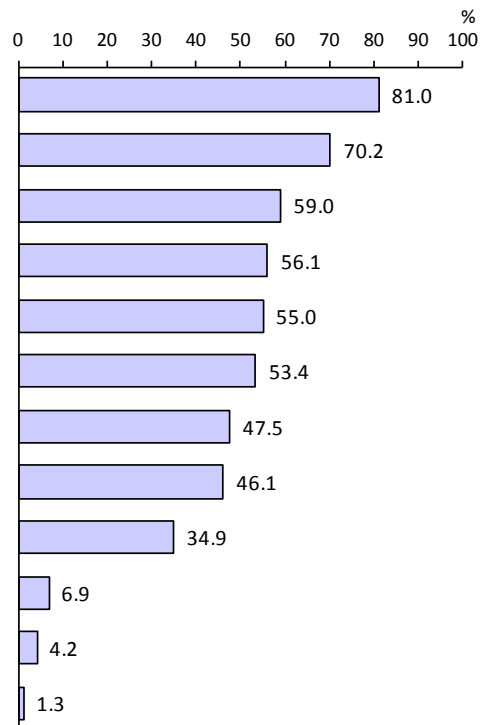


判断する上で必要な情報（問 14-1）

※問 14 で「現時点でまだ判断がつかない」と回答した方のみ

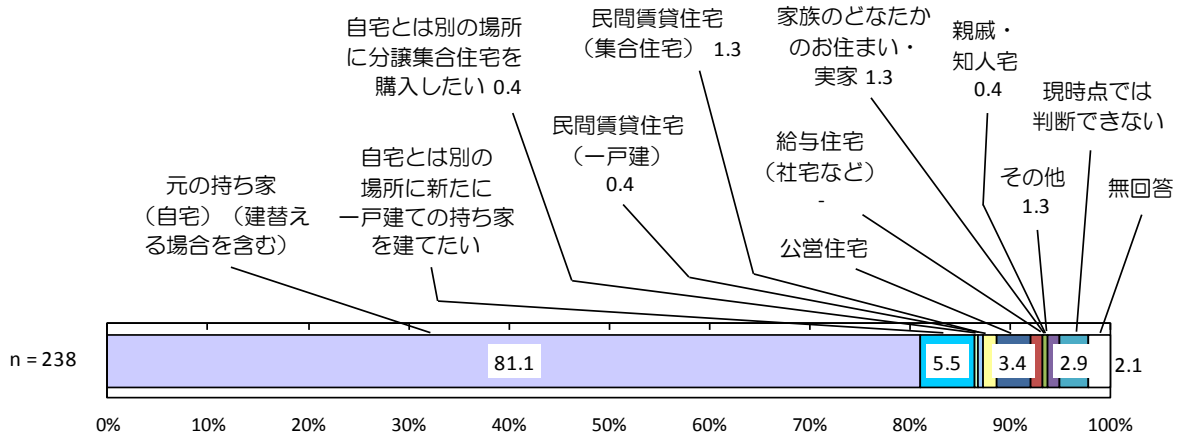
n = 547

- 道路、鉄道、学校、病院などの社会基盤（インフラ）の復旧時期の目途
- 放射線量の低下の目途、除染成果の状況
- 避難解除となる時期の目安に関する情報
- 原子力発電所の安全性に関する情報（事故収束や廃炉の状況）
- 中間貯蔵施設の情報
- どの程度の住民が戻るかの状況
- 放射線の人体への影響に関する情報
- 受領する賠償額の確定
- 働く場の確保の目途
- その他
- 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない
- 無回答



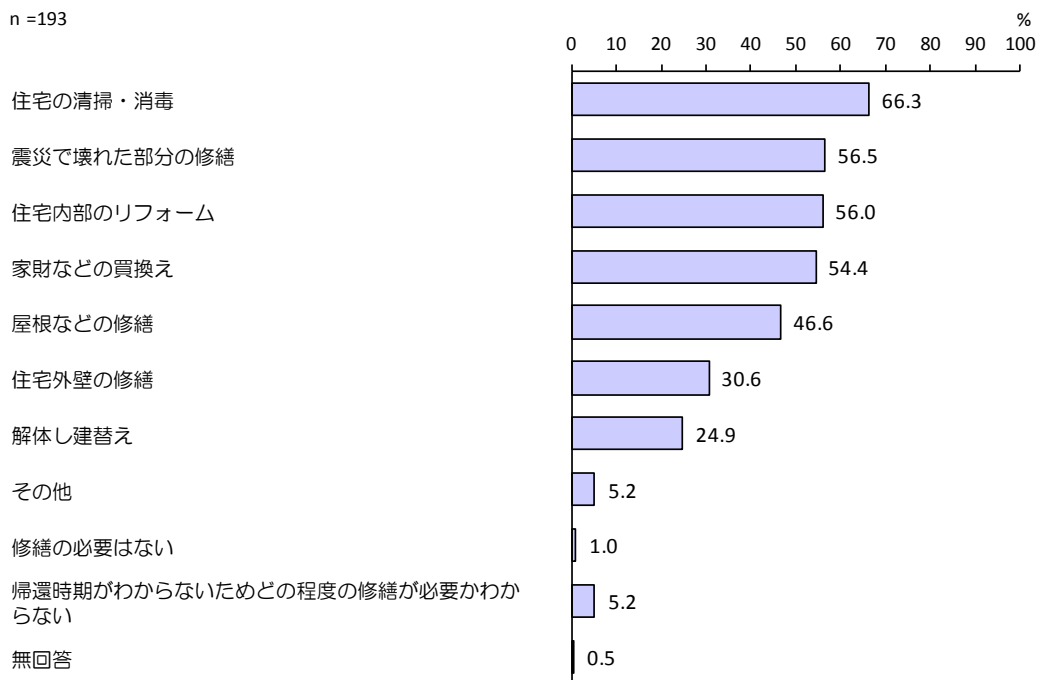
帰還した場合に希望する住居（問 14-3）

※問 14 で「現時点で戻りたいと考えている」と回答した方のみ



元の持ち家に必要な修繕（問 14-4）

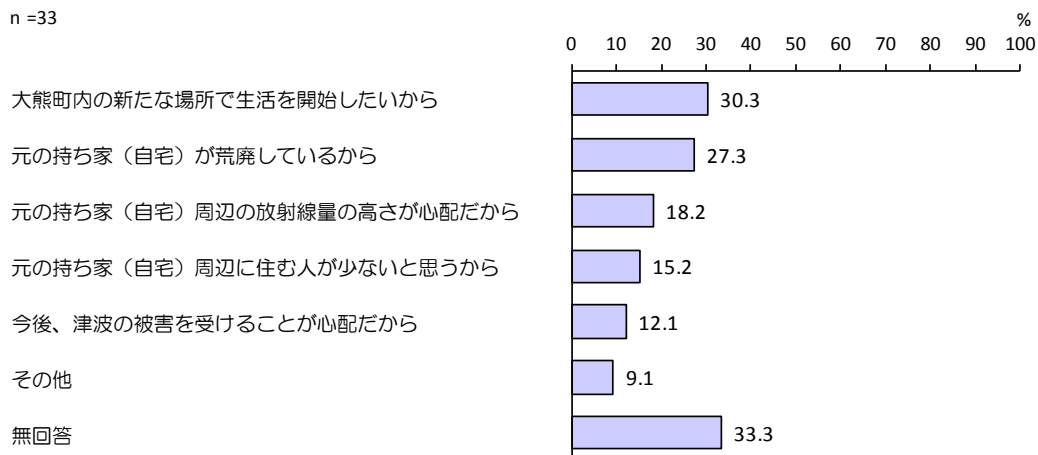
※問 14-3 で「元の持ち家（自宅）（建替える場合を含む）」と回答した方のみ



元の持ち家以外を希望する理由（問 14-5）

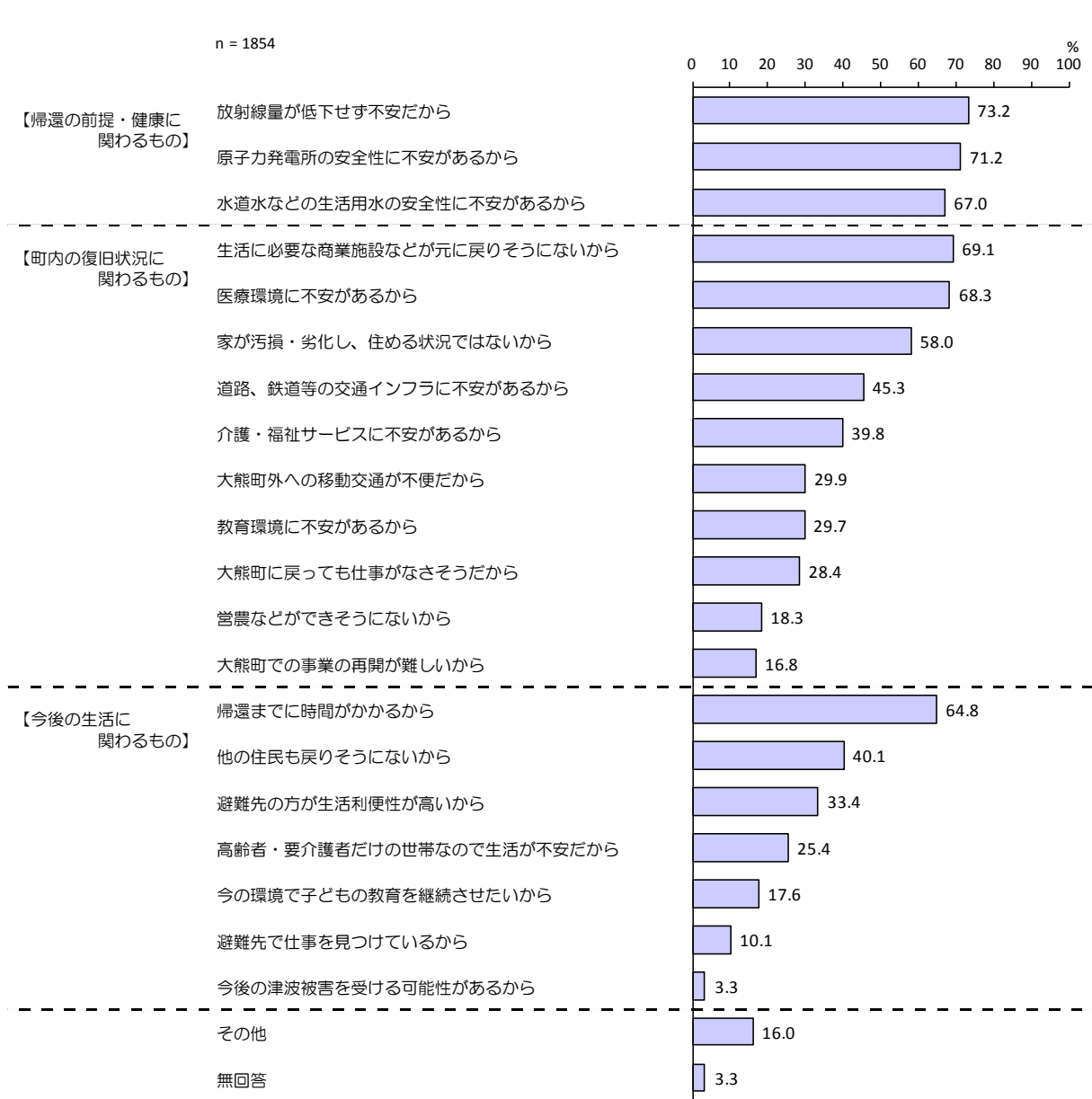
※問 14-3 で「元の持ち家（自宅）（建替える場合を含む）」
以外のお住まいを回答した方のみ

n = 33



戻らないと決めている理由（問 14-6）

※問 14 で「現時点で戻らないと決めている」と回答した方のみ



大熊町に戻らない場合に今後居住を希望する自治体（問 14-7(1)・(2)）

※問 14 で「現時点で戻らないと決めている」と回答した方のみ

